

平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 健彦
 (東証 JASDAQ コード: 6862)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 伊藤 信雄
 (TEL 045-591-5611)

**業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正、並びに営業外費用
 (為替差損、シンジケートローン手数料)、特別利益の計上に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日の決算発表時に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想との差異、及び通期の業績予想の修正、並びに営業外費用 (為替差損、シンジケートローン手数料)、特別利益の計上について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異
 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,563	百万円 65	百万円 74	百万円 16	円 銭 0.44
実 績 値 (B)	3,377	12	△56	△71	△1.96
増 減 額 (B-A)	△1,185	△52	△130	△87	
増 減 率 (%)	△26.0	△80.7	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月 期第 2 四半期)	1,034	△3	△11	△26	△1.15

2. 差異の理由

メモリーモジュール関連事業におきまして、コンピュータ記憶装置の DIMM 及び SSD の主要調達部材である DRAM、NAND フラッシュメモリー価格が昨年から下落を続けたことにより、前期に比べ売上高を保守的に見積もっておりました。しかしながら、想定以上に DRAM 及び NAND フラッシュメモリー価格の下落が進み、これに伴い製造販売価格が下落したこと、及び国内産業用機器メーカーの生産減少、並びに円高による為替差損の計上等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ前回予想を下回る結果となりました。

3. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,226	百万円 197	百万円 215	百万円 108	円 銭 3.00
今回修正予想 (B)	7,361	117	33	△12	△0.33
増減額 (B-A)	△1,865	△80	△182	△120	
増減率 (%)	△20.2	△40.6	△84.7	—	
(ご参考) 前期通 期実績 (平成 28 年 3 月期)	2,114	△6	△45	△70	△2.84

4. 修正の理由

国内産業用機器メーカーの生産減少や円高傾向の継続など先行き不透明な状況が予想されますが、DRAM 及び NAND フラッシュメモリー価格は昨年からの下落傾向からここきて落ち着きを取り戻しており、当社グループ間でそれぞれの取引先に対して新たな商品を薦めて売上高を伸ばすクロスセルの効果等を見込むことから、業績予想について売上高 7,361 百万円、営業利益 117 百万円、経常利益 33 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 12 百万円に修正いたします。

5. 営業外費用（為替差損、シンジケートローン手数料）及び特別利益の計上について

(1) 営業外費用（為替差損）の内容

為替相場の変動により、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、為替差損 46 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主に、同期間中に生じた急激な為替変動により、当社グループが保有する外貨建資産価値が減少したことにより生じたものです。

(2) 営業外費用（シンジケートローン手数料）の内容

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、シンジケートローン手数料 14 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは、短期借入金の契約更改に合わせてシンジケートローンを組成したことにより生じたものです。

(3) 特別利益の内容

補助金収入 9 百万円の計上によるものです。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上